



2010年3月1日

新図書館準備室

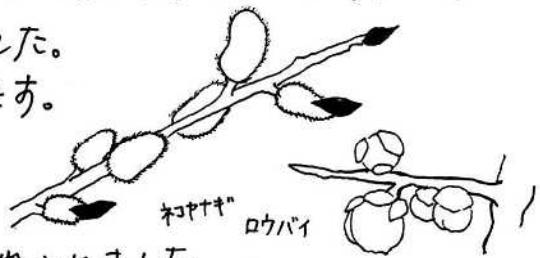
・4号・ だより

み・リン

みんなとリンク

発行:  
小諸市役所  
新図書館準備室  
0267(22)1700  
内線 367

今号で「平成21年度」の「み・リン」も最終号となりました。  
受験・卒業の季節です。春もすぐそこまで来ています。

新図書館建設ワークショップ<sup>°</sup>

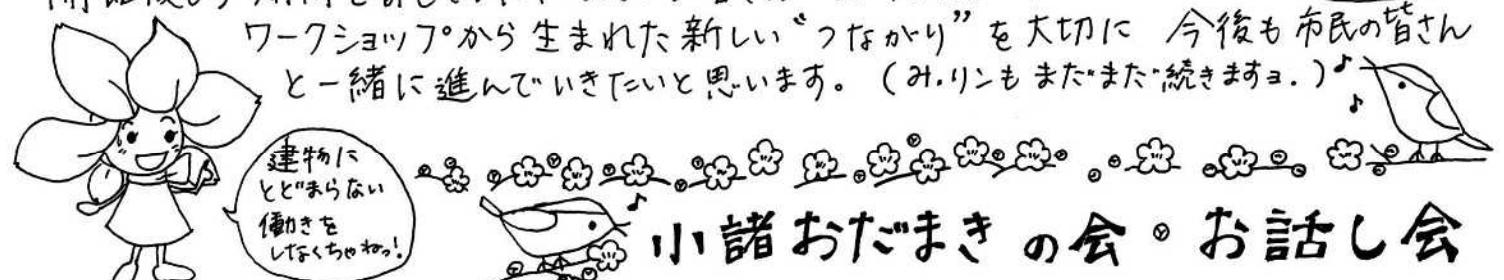
最終回

1月15日(金)第6回建設ワークショップが開催されました。

昨年8月から6回にわたって開催してきたワークショップですが、多くの方々のご参加をいたたき、それぞれの立場からの貴重な意見をたくさんお聞きることができました。

最終回を迎えた第6回目には、直夜あわせて77名の参加がありました。設計会社から基本設計案の説明を聞いた後、参加者全員で意見交換を行いました。中高生の学習スペースについて、屋上の利用について、多目的ホールの活用についてなど、積極的な意見が出され、複合交流センターに対する皆さんの期待の大きさを感じました。

その中で、複合交流センターにすべてを盛り込もうとするのではなく、小諸市の一施設として、他の施設と連携して情報を集め、発信し、それぞれの施設へ利用者を案内することができる、情報拠点としての施設であってほしい、という意見が出されました。常に原点に立ちかえることが大切だととも。『誰のために、何のための、何を目指した施設なのか』これから複合交流センター開館まで(もちろん、開館後も)期待を寄せていた正在いる皆さん一人一人の思いやワークショップから生まれた新しい“つながり”を大切に今後も市民の皆さんと一緒に進んでいきたいと思います。(み・リンもまたまた続きますよ。)

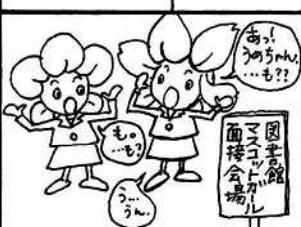
小諸おたまきの会<sup>°</sup>お話し会

ワークショップ開始前、「おたまきの会」の皆さんによるお話し会が開かれました。前回のゴスペルコンサート同様、ワークショップのつながりから生まれた企画です。

「おたまきの会」は、市内外の幼稚園・保育園・小中学校などへお話を届けたり、研修として夏には黒姫童話館で発表会をしています。おたまきの会の“お話し”は、読み聞かせとも朗読とも違う絵本、落語、小諸の昔話などを“群読”という形で聞かせてくれます。“群読”というのは、ひとつのお話を、役をつけ数人で読むやり方で、芝居風でわかりやすく、声の重なりが立体感をつけてくれるので、お話の世界に浸ることができます。子どもでも大人でも楽しむことができます。今回聞き手はほとんどが大人でしたが、“お話し会”も新鮮に感じられたのではないかでしょうか。(このような取組は今後も続けていきます。)



# すみれちゃん日和 —就職活動編—



◎ 講演会 ... H20.11.24 『これから図書館を考えよう!』

宮下 明彦 先生(県図書館協会事務局長)

H21.2.11 『市民が創る読書の森・知の図書館—公民協働の読書活動・図書館経営をめざして—』

牛山 圭吾 先生(県図書館協会会长)

## ◎ 先進図書館視察

県内外の様々な図書館を視察に行きました。

見るのも勉強  
聞くのも勉強

H.21.8.28

## 複合交流センター建設ワークショップ(全6回昼夜の部)開催

～H22.1.15

このワークショップから、新図書館だけでなく駅舎併設複合交流センター全体を考えるワークショップが始まりました。計6回を経て、ワークショップに参加してくださったみなさん、設計会社の方々、木-4ページ・広報等を読んで応援してくださっていたみなさん、ひとりひとりの思いのつまみ、基本設計案が出来上がりました。ワークショップの詳しい内容については、準備室のホームページ(市のホームページ→暮らし情報→教育・学習・スポーツ→新図書館準備室)又は、広報等でご覧ください。

## これから

いよいよ 実施設計です。(平成22年3月～8ヶ月の予定)

## ◎ H22.5月～8月 ワークショップ予定

ありがとうございました。  
カンケキです。

実施設計にむけてスケジュールにあわせた内容で、ワークショップを開催していきます。より多くの方の意見を聞き、皆さんでよりよい施設にするためにはどうあたらいいか、話し合、こもううためのワークショップです。ワークショップの開催日、内容等については決まり次第、木-4ページ・広報又はチラシ(市内各施設に設置)等でお知らせしていきます。たくさんの方の参加をお待ちしています。

\* 訂正…前号の「み・りん」にて「国際読書年」と表記してありましたか正しくは「国民読書年」です。

—tosh@city.komoro.nagano.jp—

# はじまりの一歩 から 未来へ

H20.11.1 新図書館準備室が設置されました。

市民の声に応えた市民協働の大好きな一步でした。

H20.12.22 小諸市駅舎併設複合交流センター建設準備委員会

～H21.12.18 昨年12月までの間に、全9回の委員会が開かれました。さまざまな分野から委員が選出され、複合交流センターの進むべき道すじを話し合いました。

平成21年8月12日『駅舎と併設する複合交流センターの建設についての答申』が出されました。

## 新図書館ワークショップ(全4回昼夜の部)開催

H21.1.14  
～H21.2.26

“ワークショップ”をするのははじめて、苦手、という方が多い中で、きちんとたくさんの方の意見を聞くと始まったワークショップです。参加してみると意外と楽しく来るのが楽しい、という方もいらっしゃいました。

皆さんの図書館に対するそれぞれの思いを出し合い、お互いの意見を聞きあって、現実にあてはめ優先順位(点数化)をつけました。なんとなくわたくしたちの目指す図書館が見えてきた頃です。



◎ 講演会 ... H20.11.24 『これから図書館を考えよう!』

宮下 明彦 先生(県図書館協会事務局長)

H21.2.11 『市民が創る読書の森・知の図書館—公民協働の読書活動・図書館経営をめざして—』

牛山 圭吾 先生(県図書館協会会长)

## ◎ 先進図書館視察

県内外の様々な図書館を視察に行きました。

見るのも勉強  
聞くのも勉強

## 複合交流センター建設ワークショップ(全6回昼夜の部)開催

～H22.1.15

このワークショップから、新図書館だけでなく駅舎併設複合交流センター全体を考えるワークショップが始まりました。計6回を経て、ワークショップに参加してくださったみなさん、設計会社の方々、木-4ページ・広報等を読んで応援してくださっていたみなさん、ひとりひとりの思いのつまみ、基本設計案が出来上がりました。ワークショップの詳しい内容については、準備室のホームページ(市のホームページ→暮らし情報→教育・学習・スポーツ→新図書館準備室)又は、広報等でご覧ください。

ありがとうございました。  
カンケキです。

## これから

いよいよ 実施設計です。(平成22年3月～8ヶ月の予定)

## ◎ H22.5月～8月 ワークショップ予定

実施設計にむけてスケジュールにあわせた内容で、ワークショップを開催していきます。より多くの方の意見を聞き、皆さんでよりよい施設にするためにはどうあたらいいか、話し合、こもううためのワークショップです。ワークショップの開催日、内容等については決まり次第、木-4ページ・広報又はチラシ(市内各施設に設置)等でお知らせしていきます。たくさんの方の参加をお待ちしています。

\* 訂正…前号の「み・りん」にて「国際読書年」と表記してありましたか正しくは「国民読書年」です。

—tosh@city.komoro.nagano.jp—